

次世代研究者挑戦的研究プログラム

「宮崎大学の高度異分野融合性を活用した次世代研究者支援プロジェクト」募集要項

宮崎大学では、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択され、『宮崎大学の高度異分野融合性を活用した次世代研究者支援プロジェクト』を現在実施している。このプロジェクトは、博士後期課程学生の経済的支援（生活費相当額：18万円/月、研究費：40～70万円/年）と、指導教員だけでなく学内外（企業を含む）の専門家と共同研究を行うこと等によって、トランスファラブルスキル（職種・地域・業界を超えて活用できる汎用性の高いスキル）と強い精神力を身につけた次世代研究者を育成することを目的とする。

対象者	本学大学院農学工学総合研究科博士後期課程 令和5年度入学者および令和6年4月入学予定者 本学大学院医学獣医学総合研究科博士課程 令和5年度入学者および令和6年4月入学予定者
募集人数	上限5人
支援期間	令和6年4月から支援を開始し、原則として標準修業年限の間 ※国の財政状況や事業の見直し等により、変更となる可能性があります。
応募締切	令和6年4月19日(金)17時 ※時間厳守
面接日	令和6年5月8日(水)10時00分～12時00分の間 ※県外または海外在住者に限り、オンライン面接可とします。応募する際、メール本文に「オンライン面接希望」と記載してください。
結果通知	令和6年5月中旬頃

【応募資格】

本プログラムに応募できる者は、次に掲げる要件を全て満たした者とする。

- 1) 本プログラムの趣旨を理解し、本学が企画立案するコンテンツに積極的に参加し、自身の研究遂行能力及びトランスファラブルスキル向上の意欲を有している者
- 2) 博士後期課程修了後10年間、本学が行う事後調査に協力できる者
- 3) 次のいずれにも該当しない者
 - ・本学もしくは企業等に勤務し、または起業等により、年間240万円を超える安定的な収入を得ていると認められる者
 - ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）として採用されている者
 - ・国または民間団体等から奨学金等を受けており、当該奨学金等以外の資金援助を受けることが認められていない者
 - ・国費外国人留学生制度による支援を受けている者

【応募書類の提出】

応募書類を下記申請先にメールで提出する。

(様式1) 申請書：氏名等、研究テーマ、研究業績、研究計画、自己評価、自己研鑽、目指す研究者像

※申請者本人が記載すること。(英語可)

※ファイル名は、氏名+様式1とする。

(様式2) 推薦書：希望指導教員など、本人を良く知る人物による所見

※推薦書の提出は必須では無く任意とする。

※ファイル名は、氏名+様式2とする。

【選抜方針、選考方法及び選考結果】

優れた研究能力を有し、トランスファラブルスキル(対課題スキル、対自己スキル、対人スキル)と厳しい競争的環境における強さを身につけることが可能な者であること。申請書(研究業績、研究計画、自己評価、自己研鑽、目指す研究者像)とこれらに関する面接等により、次世代研究者としての適正を総合的に審査する。審査結果は、メールにて通知する。

なお、選抜にて規定の人数に満たない場合には、追加選抜の選考を行う。

支援期間終了前に受給を終結する者がいた場合、支給対象学生を特別に採用することがある。

【その他】

応募者は事前に下記 Web サイトを確認すること。

▼JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム

<https://www.jst.go.jp/jisedai/outline/index.html>

▼宮崎大学次世代研究者支援室(募集案内ページ)

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/jisedai/recruitment.html>

【注意事項】

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)では、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受ける者は、無利子奨学金に係る「特に優れた業績に係る返還免除制度」の適用対象外としています。また、返還免除内定者が本プログラムの支援を受けることが決定した場合は、返還免除の内定は取消しとなります。

【採用者について】

採用された者は、5月末までに「次世代研究者詳細計画書」を提出すること。

採用された者は、Webサイトに記載している受給者の義務等を遵守すること。

採用された者は、標準修業年限内に学位取得すること。

採用された者は、「博士人材データベース (JGRAD)」および「ジョブ型研究インターンシップ」に登録すること。(別途案内予定)

採用された学生の氏名を、Web サイトにて公表する。

【主指導教員のみなさまへ】

採用された学生は、標準修業年限内に学位を取得することを前提としています。

研究費の適正な管理・執行について、ご指導いただきますようお願いいたします。

研究費の用途について、研究費の計画的な執行も教育の一環であるという観点から学生に計画させてください(研究室等で用途に厳しい制限を掛けないこと)。

年に一度研究報告会を行いますので、ご出席のほどよろしくようお願いいたします。

その他事務担当者からの依頼事項等についてご協力いただけますと幸いです。

<連絡・問合せ・申請先>

宮崎大学 工学部教務・学生支援係 農工担当

Tel : 0985-58-7870 / E-Mail : n-reserch@cc.miyazaki-u.ac.jp